

おめでとうございます

危険業務従事者叙勲

このほど、長年にわたり危険な業務に就き、社会へ貢献された功績をたたえる「危険業務従事者叙勲」の発表が行われました。

◆瑞宝双光章（警察功労）

浅見 正行 さん



元千葉県警部（72歳・六ツ野）

昭和35年3月に千葉県警察官に採用され、平成13年3月まで41年間の長きにわたり主に生活安全関連の事件捜査に従事されました。警察官としての毎日は、忙しいながらも非常に充実していたという浅見さん。「この度の受章はひとえに、諸先輩方のご指導や同僚・後輩のご支援をいただいた賜物と深く感謝しています。今後ともこの荣誉に恥じることのないよう精進したいと思いません。」と話してくれました。

◆瑞宝双光章（防衛功労）

坂上 英夫 さん



元二等陸尉（61歳・千町）

昭和43年に陸上自衛隊少年工科学校に入校し、卒業後に入隊。以後、平成18年まで38年間の長きにわたり陸上防衛業務に尽力されました。特に印象に残っている任務は、泊り込みで業務に残っていた沖繩サミットの警備という坂上さん。「この度の受章は、上司・先輩をはじめ多くの方々のご指導、ご支援の賜物と深く感謝しています。この荣誉に恥じないよう精進したいと思いません。」と温かな表情で話してくれました。

◆瑞宝双光章（消防功労）

山崎 貞治 さん



元長生郡市広域市町村圏組合消防監（65歳・真名）

昭和41年6月に茂原市消防本部に入署以来、平成20年3月まで42年間の長きにわたり消防業務に尽力されました。「先日の台風で、平成8年の台風による水害の救助活動を思い出しました。退職まで健康で職務を全うできたのも、この度の受章も、地域の方々のご支援の賜物と感謝しています。これからも地域の活動に貢献していきたいです。」と喜びを話してくれました。

◆瑞宝双光章（消防功労）

森川 洋 さん



元長生郡市広域市町村圏組合消防司令長（66歳・千町）

昭和44年4月に茂原市消防本部に入署以来、平成18年3月まで37年間の長きにわたり消防業務に尽力されました。平成2年の竜巻発生時の救助活動が印象に残っているという森川さん。「この度の受章は身に余る光栄です。長く勤めることができたのも先輩をはじめ、皆様方のおかげです。今後とも受章に恥じないよう精進し、地域のために貢献していきたいと思いません。」と喜びを語ってくれました。

◆瑞宝単光章（警察功労）

松岡 明 さん



元千葉県警部（72歳・早野）

昭和37年8月に千葉県警察官に採用され、平成11年3月まで37年間の長きにわたり、主に凶悪事件の捜査に尽力されました。特に印象に残っているのは、成田闘争での警戒捜査という松岡さん。在職中の夢を今でも見るそうです。「このたびの受章は、先輩や同僚のあたたかいご指導、ご支援のおかげです。今後とも受章に恥じないよう精進し、地域のために出来ることをしていきたいと思いません。」と語ってくれました。

◆瑞宝単光章（消防功労）

森 和夫 さん



元千葉市消防監（65歳・石神）

昭和47年10月に千葉市消防局に入署以来、平成21年3月まで37年間の長きにわたり消防業務に従事されました。「振り返ってみるとあつという間でした。このたびの受章は、関係各位の皆様のご支援、ご鞭撻のおかげと深く感謝しています。今後は、これまでの経験を生かし、地域防災に関心をもち続けて私にできることをしていきたいと思えます」と力強く語ってくれました。